



# 震災1年

## 宗派を超えて 被災地に祈り

### 山形で復興祈願法要

東日本大震災で犠牲となつた人々の冥福を祈り、一

東日本大震災犠牲者の冥福を祈り、被災地の一日も早い復興を祈願した最上十三観音札所の住職ら＝山形市

界各地で大震災の法要が行われており、ありがたいことだ。他人の心の痛みを感じるのが祈りに通じる」と語った。

最上三十三観音札所別当会(奥山東順会長)が主催。昨年11月に開いた総会で、観音信仰を担う者同士が宗派を超え、大震災の一周忌法要開催を決めた。

日も早い復興を祈願する法要が4日、山形市の霞城セントラル1階で開かれた。最上三十三観音札所の住職らが、宗派を超えた祈りを被災地に向けて届けた。

法要では住職による読経の中、参列者が次々に焼香。山形市の長松寺の女性檀家(だんか)25人も御詠歌を奉納した。法要後は24番札所・薬師寺(尾花沢市)の渡辺隆良住職が法話。「世